

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	肺切除既往のある患者の肺切除後予測呼吸機能に関する臨床研究		
1. 研究の目的と方法	肺癌手術の治療成績の向上や平均寿命の延長により、2回目の肺切除を行う頻度が増加しています。肺切除を行ったことのある患者さんは、呼吸機能が低下しているため、術後呼吸不全などの合併症のリスクは高くなります。そのため術後呼吸機能の正確な予測が必要となりますが、肺切除後の肺体積の変化のため術後呼吸機能の予測が難しく、その正確な算出方法は明らかになっていません。そこで本研究により、肺切除を行ったことのある患者さんの、正確な術後呼吸機能の予測を可能にすることを目的としています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2024年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	附属病院にて、2016年1月1日～2018年3月31日の期間に、当院で肺切除術を受け、それ以前に肺切除を受けたことがあり、術前と術後にスパイロメトリーを施行した方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	患者の性別、年齢、喫煙歴、術前呼吸機能、術前CT、併存疾患の詳細、治療疾患、開胸既往の有無、術式、手術時間、出血量、癒着などの術中所見、術後合併症の詳細、術後合併症に対する治療、ドレーン留置期間、術後在院日数、術後呼吸機能、術後呼吸器関連疾患の発症	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 外科学講座
		氏名	柴崎隆正
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2023年9月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 外科学講座 研究責任者：助教 柴崎隆正（しばざき たかまさ） 電話番号：03-3433-1111（内線：2890） 対応時間：平日9：00 ～ 16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。